

- 問1 東大寺にある、三角形の材木を組み上げた「校倉造」という建築様式の倉庫には、当時の国際交流を物語る工芸品が多数保管されています。この倉庫の名称と、そこで見られる国際的な特徴を持つ文化の名称の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2024年 神奈川県公立入試 類似)
1. 法隆寺 – 飛鳥文化 2. 金閣 – 北山文化 3. 平等院 – 国風文化 4. 正倉院 – 天平文化
- 問2 奈良時代の日本は、大陸の進んだ文化や仏教の經典を取り入れるために遣唐使を派遣しました。遣唐使が唐の都である長安に向かうための経路において、初期は九州から朝鮮半島の西沿岸を北上して進む「北路」が一般的でしたが、のちに東シナ海を直接横断して揚州方面へと向かうようになった経路の名称を答えなさい。 (2016年 山口県公立入試 類似)
1. シルクロード 2. 南海路 3. 東山道 4. 南路
- 問3 奈良時代の土地制度の変遷について述べた文章のうち、墾田永年私財法が制定された背景や目的を正しく説明しているものを選びなさい。 (2016年 香川県公立入試 類似)
1. 農地が荒れ果てたため、期限付きで私有を認めることで一時的に食糧増産を図ろうとした。 2. 大名や有力な武士の勢力を抑えるため、開墾した土地をすべて国家に返還させる制度を強化した。 3. 人口増加による口分田の不足を解消するため、開墾した土地の永久私有を認めて農民の意欲を高めようとした。 4. 貨幣経済が浸透したことで、土地を売買することを自由に認め、税収を安定させようとした。
- 問4 708年に日本で発行された貨幣で、当時の東アジアにおいて政治・文化の両面で大きな影響力を持っていた唐の貨幣（開元通宝）にならって作られたものを何といいますか。 (2021年 広島県公立入試 類似)
1. 寛永通宝 2. 富本銭 3. 慶長小判 4. 和同開珎
- 問5 律令国家が「班田収授法」を定め、戸籍に基づいて6歳以上の男女に口分田を与えた目的と、その背景にある仕組みの説明として最も適切なものはどれですか。 (2020年 長野県公立入試 類似)
1. 土地の売買を自由化することで流通を活発にし、国家の財政を潤すため。 2. 貴族や寺社に広い私有地を与え、地方の開墾を効率的に進めさせるため。 3. 農民を土地に結びつけて確実に把握し、租などの税を安定して徴収するため。 4. 能力の高い農民に多くの土地を優先的に配分し、農業の生産性を高めるため。
- 問6 奈良時代、聖武天皇の遺愛の品や東大寺の宝物を納めるために建てられた施設について述べたものとして、最も適切な名称を答えなさい。この施設は、三角形の材木を組み上げた「校倉造（あぜくらづくり）」という建築様式が採用されていることでも知られています。 (2018年 山形県公立入試 類似)
1. 正倉院 2. 唐招提寺 3. 平等院 4. 法隆寺
- 問7 日本の社会と経済の歴史をまとめた年表において、奈良時代の律令政治に関する記述があります。この時代、戸籍に基づいて土地を配分する制度がありましたが、その配分の対象となる人物の条件として正しいものはどれですか。 (2024年 石川県公立入試 類似)
1. 家督を継ぐ長男のみが対象となり、女子や次男以下には配分されなかった。 2. 性別や身分に関わらず、6歳以上の男女であれば対象となった。 3. 国司や郡司などの役職に就いている地方の有力者のみが対象となった。 4. 自力で原野を切り開き、新しい田地を開発した者のみが対象となった。
- 問8 律令制度のもと、政府は土地と人民を直接支配する原則を掲げました。この原則に基づき、6年ごとに作成される戸籍に従って、6歳以上の男女に一定の土地を与え、死後は国に返還させるという仕組みを何といいますか。 (2018年 香川県公立入試 類似)
1. 地租改正 2. 班田収授の法 3. 公地公民の制 4. 墾田永年私財法
- 問9 聖武天皇が国分寺や国分尼寺を全国に設置した目的について、当時の社会背景を踏まえた説明として最も適切なものはどれですか。 (2016年 山口県公立入試 類似)
1. 壬申の乱によって打撃を受けた地方勢力を、寺院の管理を通じて中央集権体制に組み込むため。 2. 律令制度に基づき、全国の戸籍調査を円滑に進めるための地方役所の出先機関とするため。 3. 疫病の流行や貴族の反乱による社会の混乱を、仏教の力によって鎮め、国家の安泰を願うため。 4. 藤原氏が摂政や関白として実権を握るのを防ぐため、寺院に独自の軍事力を持たせるため。
- 問10 奈良時代、聖武天皇が東大寺に大仏を造り、全国に国分寺や国分尼寺を建立した目的として最も適切なものはどれですか。 (2017年 和歌山県公立入試 類似)
1. 遣唐使の派遣に必要な膨大な経費を賄うため、全国の寺院を拠点として広く寄付を募り、財政を立て直すため。 2. 仏教の力によって伝染病や社会の不安を鎮め、国家の安定を図ろうとする鎮護国家の思想を実践するため。 3. 地方の豪族に寺院を管理させることで、中央政府による土地と人民の支配を強化し、班田収授法を徹底するため。 4. 海外からの軍事的な脅威に対抗するために、寺院を軍事拠点として整備し、僧兵を訓練して防衛力を高めるため。
- 問11 聖武天皇が国ごとに国分寺や国分尼寺を建て、都に東大寺の大仏を造営した理由として、最も適切な説明を選びなさい。 (2025年 岩手県公立入試 類似)
1. 地方の豪族を強力な武力で圧迫して支配を強めるため 2. 武士の軍事力を結集して新しい政権を樹立するため 3. 仏教の力によって疫病や社会不安などの災いから国を護るため 4. 大陸との貿易を独占して金銀などの財貨を集めるため
- 問12 奈良時代の文化について説明した文章として、正しいものはどれか。 (2016年 東京都公立入試 類似)
1. 大陸から稲作の技術とともに青銅器や鉄器が伝わり、強力な勢力を持つ王が各地に現れるようになった。 2. 聖武天皇の遺品が東大寺の正倉院に納められ、シルクロードを通じて伝わった西アジアの工芸品などが現代に伝えられている。 3. 宋に渡って禅宗を学んだ道元が、越前国に永平寺を建立して厳しい修行による悟りを説いた。 4. 足利義満が明と貿易を開始し、勘合を用いることで倭寇と正式な貿易船を区別して経済的利益を追求した。
- 問13 奈良時代に編纂された「風土記」の記述内容として、当時の政府が地方を管理する上で重視した視点に当てはまらないものはどれですか。 (2017年 岐阜県公立入試 類似)
1. 地名の由来や、古くからその地域に伝わっている伝説 2. その土地で得られる動植物や鉱物などの産物の種類 3. その土地が農業に適しているかなどの肥沃の状態 4. 天皇の家系や中央政府の正統性を裏付ける国家の歴史

答え合わせ・解説

問1	答え 4 正倉院 - 天平文化	聖武天皇の時代を中心に栄えた、仏教の影響が強く国際色豊かな文化を天平文化と呼びます。その代表的な遺物を収めているのが東大寺にある正倉院です。校倉造は、湿度の変化に合わせて木材が伸縮することで中の品物を守る工夫がなされた建築様式です。飛鳥文化は推古天皇の時代の文化、国風文化は平安時代中期、北山文化は室町時代の足利義満の時期の文化であり、それぞれ特徴が異なります。
問2	答え 4 南路	朝鮮半島の沿岸を進む北路に対し、東シナ海を横断して揚州方面へ向かう経路は南路と呼ばれます。新羅との関係悪化や、唐の文化をより迅速に取り入れる必要性から、航海技術が未熟で遭難の危険が高いにもかかわらず、奈良時代後半にはこの南路が主に利用されるようになりました。これにより、唐の最新の仏教文化や制度が日本へもたらされました。
問3	答え 3 人口増加による口分田の不足を解消するため、開墾した土地の永久私有を認めて農民の意欲を高めようとした。	班田収授法のもとでは、土地はあくまで国家から借りているものでしたが、人口増に対して供給が追いつかなくなりました。政府はまず「三世一身の法」で期間限定の私有を認めましたが、期限が近づくと農民が土地を放り出してしまう課題がありました。そこで聖武天皇は、永久私有を認めることで継続的な開墾と安定した税収（租）の確保を目指しました。
問4	答え 4 和同開珎	奈良時代の初期である708年、日本は律令国家としての制度を整えるため、当時の先進国であった唐の貨幣制度に倣って和同開珎を鑄造しました。これは武蔵国（現在の埼玉県）から銅が献上されたことをきっかけに発行が始まりました。
問5	答え 3 農民を土地に結びつけて確実に把握し、租などの税を安定して徴収するため。	律令国家にとって、土地と人民を直接支配する「公地公民」の原則は、国家財政を維持するための根幹でした。戸籍によって一人ひとりの人民を把握し、口分田を与える代わりに「租（収穫した稲の約3%）」などの税を課すことで、国家の収入を安定させる狙いがありました。そのため、私有地を増やすことや土地の自由な売買は、当初の律令制度の目的とは相反するものでした。
問6	答え 1 正倉院	聖武天皇の没後、光明皇后が天皇ゆかりの品々を東大寺に奉納したことが始まりとされています。湿気から宝物を守るために、三角形の木材を組み合わせた校倉造という技法が用いられました。中にはシルクロードを経由してペルシャなどから伝わった国際色豊かな宝物も多く含まれています。
問7	答え 2 性別や身分に関わらず、6歳以上の男女であれば対象となった。	律令制度のもとでは、6年ごとに作成される戸籍に基づき、6歳以上の全ての男女に口分田が割り当てられました。良民の男子は2段、女子はその3分の2といったように、性別や身分（良民・賤民）によって面積に差はありましたが、原則として対象者全員に土地が与えられる仕組みになっていました。
問8	答え 2 班田収授の法	大化の改新以降、律令国家は土地と人民が国家のものであるとする公地公民の原則を基本としていました。この方針を具体化し、6歳以上のすべての人々に「口分田」を与え、その人が亡くなると再び政府が回収する仕組みが「班田収授の法」です。この土地の配分は、6年ごとに作り直される戸籍に基づいて行われる厳しい管理体制のもとにありました。
問9	答え 3 疫病の流行や貴族の反乱による社会の混乱を、仏教の力によって鎮め、国家の安泰を願うため。	聖武天皇の治世では、天然痘という感染症が猛威を振るい、当時の政権幹部である藤原四兄弟が相次いで病死したほか、藤原広嗣による反乱が起きるなど、国家的な危機に直面していました。このような不安を取り除き、人々の心を安定させるために、仏教という強力な精神的支柱を国家運営に取り入れ、全国規模での寺院建立が進められました。これは律令国家の整備が進む中で、宗教的権威を統治に利用した事例といえます。
問10	答え 2 仏教の力によって伝染病や社会の不安を鎮め、国家の安定を図ろうとする鎮護国家の思想を実践するため。	聖武天皇の治世では、天然痘の流行や相次ぐ政変、干ばつなどにより社会が非常に不安定な状況にありました。このような災厄から国を守るため、天皇は仏教の力を借りて国を治める「鎮護国家（ちんごこっか）」の考えに基づき、東大寺の大仏造立や、全国各地への国分寺・国分尼寺の建立を命じました。これは宗教の力で民衆の心を結びつけ、国家の平穏を願ったものです。
問11	答え 3 仏教の力によって疫病や社会不安などの災いから国を護るため	当時の奈良時代には、疫病の流行や政治の動揺といった社会不安が広がっていました。聖武天皇は仏教の力によって国を治め、不安をしずめようとする鎮護国家の思想のもとで国分寺や東大寺を建てました。
問12	答え 2 聖武天皇の遺品が東大寺の正倉院に納められ、シルクロードを通じて伝わった西アジアの工芸品などが現代に伝えられている。	奈良時代に栄えた天平文化は、仏教の影響を強く受け、かつ遣唐使によってもたらされた国際色豊かな文化です。東大寺の正倉院には、聖武天皇の愛用品に加えて、当時の唐の都である長安に集まったペルシアやインドなどの品々が、シルクロードを経由して日本に届いた状態で保存されています。他の選択肢については、稲作や金属器の伝来は弥生時代、道元による永平寺建立は鎌倉時代、足利義満による日明貿易（勘合貿易）は室町時代の出来事です。
問13	答え 4 天皇の家系や中央政府の正統性を裏付ける国家の歴史	風土記はあくまで地方ごとの自然環境や文化、資源を記録した「地理書」としての性格を持っています。天皇の系譜や国家の成り立ちといった公式な歴史をまとめたものは「古事記」や「日本書紀」であり、地方の状況を報告させる目的で作成された風土記とはその役割が区別されています。